

以下のリストは、特定の製品に適用される追加の利用条件を示す。
個々の製品名の後に示される数字は、当該製品に適用される利用条件の番号を表す。
ここに示す利用条件は、本契約を補足するものである。
各利用条件の具体的な内容は、製品リストの後に記されている。
注文関連ドキュメントで特に断りのない限り、エクステンション製品の利用条件は、対応する製品の利用条件に準拠する。

デスクトップ製品

- ArcGIS Desktop (Advanced、Standard、またはBasic) (26)
- ArcGIS Earth (20; 65)
- ArcGIS Explorer Desktop (20)
- ArcGIS for AutoCAD(20)
- ArcPad (13)
- ArcReader (20)
- ArcGIS for Personal Use (3; 26)

サーバー製品

- ArcGIS Enterprise
 - StandardまたはAdvanced (17、21、23、31、87)
 - Workgroup StandardまたはAdvanced (21、23、28、29、30、87)
 - ArcGIS GIS Server (StandardまたはAdvanced) (31)
 - ArcGIS GIS Server Basic (31; 39)
 - ArcGIS GIS Server Workgroup (StandardまたはAdvanced) (28、29、30)
 - ArcGIS GIS Server Workgroup Basic (39)
 - ArcGIS Maritime (2)
- ArcGIS Enterprise オプション機能サーバー:
 - ArcGIS Image Server、ArcGIS GeoEvent Server、ArcGIS GeoAnalytics Server、および ArcGIS Notebook Server Standard (31)
- ArcGIS Enterprise Workgroup オプション機能サーバー:
 - ArcGIS Image Server、ArcGIS GeoEvent Server、ArcGIS GeoAnalytics Server、および ArcGIS Notebook Server Standard (4)
- ArcGIS Business Analyst Enterprise (17; 21; 23; 31; 87)
- ArcGIS World Geocoder Basic (67)

開発者ツール

- ArcGIS AppStudio Developer Edition (11; 16; 19)
- ArcGIS Runtime SDK for Android、iOS、Java、macOS、.NET、Qt、または WPF (16、19)
- ArcGIS Runtime for Android、iOS、Java、Mac OS X、.NET、Qt、または WPF
 - Lite (15)
 - Basic または Standard (1; 14; 15; 18)
 - Advanced (14; 15; 18)
- ArcGIS Engine Developer Kit およびエクステンション (16; 19; 22; 26)
- ArcGIS Engine for Windows/Linuxおよびエクステンション(15、22、26)
- ArcGIS Web API for JavaScript (16、64)
- ArcGIS Developer Subscription(24、26)
- ArcGIS Developer Subscription Builder、Professional、Premium、または Enterprise (77)
- ArcGIS CityEngine SDK および Procedural Runtime (19; 84)
- Esri File Geodatabase API(47)

モバイル

- ArcGIS Navigator (14)

その他

- ArcGIS Hub (85)
- ArcGIS Indoors (86)
- ArcGIS Maps for Adobe Creative Cloud Complimentary ユーザー (74)
- ArcGIS Insights (17)
- Site Scan for ArcGIS Operator ライセンス (32; 33)

Online Services

- ArcGIS Online Developer Deployment Subscriptionは ArcGIS Developer Subscriptionからご利用になれます。
 - + 無償サブスクリプション (66、68、75、76、79、81)
 - + 有償サブスクリプション(66、68、75、76、79)
 - 教育プログラム(無償または有償サブスクリプション) (66、68、70、71、75、76、79、81)
 - NGO/NPO、プレス/メディア プログラム(無償または有償サブスクリプション) (66、68、70、71、72、75、76、79、81)
- ArcGIS Onlineのサブスクリプションは、以下の複数の販売プログラムで入手可能。
 - 商業販売、エンタープライズ契約、および政府プログラム (23、66、68、69、70、77、78、82)
 - 教育プログラム (23、66、68、69、70、71、78、81、82)
 - 非営利プログラム ms (23、66、68、69、70、71、78、81、82)
- パブリックプラン (66、68、74、75、76、80、81)
以下のカテゴリに入るお客様にはこれらの追加権利がある。
 - 商業販売 (72)
 - エンタープライズ契約 (72)
 - 行政機関 (72)
 - NGO/NPO (72)
 - プレス/メディアプログラム (72)
 - 教育プログラム(71)
- ArcGIS AEC Project Delivery Subscription (83)
- ArcGIS Analytics for IoT (25)

利用条件：

1. ダイレクトコネクションによるエンタープライズ ジオデータベースの編集には使用できない。
2. ナビゲーション 用途には使用できない。
3. 個人の、非商用使用に対してのみ使用許諾される。
4. - 4コア サーバー1台に限定される。
 - 独立した別のマシンにインストール可能

5-10. 未使用

11. ArcGIS AppStudio Developer Editionで構築されたアプリケーションは、ArcGIS Runtime Standard Levelの利用条件に従うものとする。
12. 未使用
13. 二重用途ライセンスとして使用が許諾される。
14. ナビゲーション目的での使用が許可される。
15. デプロイメント ライセンスとして使用が許諾される。
- 16.

お客様はSDKまたはAPIを使用して付加価値アプリケーションを作成し、輸出規制で禁じられていない場所で使用するエンド

ユーザーに対して、当該付加価値アプリケーションを配布およびライセンス付与できるものとする。

17. お客様は本製品に含まれるOracle JDBC Driverまたはそのドキュメンテーションを再配布してはならない。Oracle は、Oracle JDBC Driver に関して、本契約の第三者受託者である。
18. デプロイメント
ライセンスは、独立したアプリケーション用のマシン1台の付加価値アプリケーション1つにつき1つである。
19. ライセンスを、インターネットベースまたはサーバーベースの付加価値アプリケーションの開発に使用することはできない。
20. 再配布ライセンスとして使用が許諾される。
21. 指定ユーザーライセンスの追加利用規約については、<http://www.esri.com/legal/software-license> マスター契約を参照すること。
22. a. 1台のマシン上でArcGIS Engineアプリケーションを実行する権利を取得するためには、エンドユーザーは、ArcGIS Engine for Windows/Linuxソフトウェアまたはその他のArcGIS Desktopソフトウェア(Basic、Standard、Advanced)のいずれかのライセンスを取得しなければならない。また、
b. ArcGIS Engine付加価値アプリケーションを実行する場合、ArcGIS Engine for Windows/LinuxエクステンションをArcGIS Desktopソフトウェアと組み合わせて使用してはならない。
エンドユーザーは、自身のみが使用する場合に限り、1台のマシンに複数のArcGIS Engine付加価値アプリケーションをインストールすることができる。
23. システム間通信
a. お客様は、Basicサービス ログインを使用して、ArcGIS EnterpriseもしくはArcGIS Onlineからお客様の組織内にある他の第三者作製エンタープライズ ビジネスシステムに対して、一方向の読み取り専用の通信を行うことができる。
お客様は、Esriが実際のサービス ログイン資格情報を実装するまで、Viewer指定ユーザーの資格情報またはレベル1の指定ユーザーの資格情報をBasicサービス ログインのために使用できる。Basicサービス ログインのために使用される個別Viewer指定ユーザーの資格情報またはレベル1の指定ユーザーの資格情報はシステム間の連携のみを目的として使用でき、指定ユーザーがシステムにアクセスするために使用することはできない。
b. お客様は、Standardサービス ログインを使用して、ArcGIS EnterpriseもしくはArcGIS Onlineとお客様の組織内にある他の第三者作製エンタープライズ ビジネスシステム間で、双方向の読み書き可能な通信を行うことができる。お客様は、Esriが実際のサービス ログイン資格情報を実装するまで、Editor（またはそれ以上の）指定ユーザーの資格情報またはレベル2の指定ユーザーの資格情報をStandardサービス ログインのために使用できる。Standardサービス ログインのために使用されるEditor（またはそれ以上の）指定ユーザーの資格情報またはレベル2の指定ユーザーの資格情報はシステム間の連携のみを目的として使用でき、指定ユーザーがシステムにアクセスするために使用することはできない。
24. ソフトウェアは、プロトタイプ付加価値アプリケーションの開発、テスト、デモンストレーション、およびマップ キャッシュの作成のみを目的として使用できる。
お客様は、付加価値アプリケーションとマップキャッシュを、ArcGIS Enterprise ステージング サーバーライセンスおよびデプロイメント サーバーライセンスで使用できる。
Builder以上のプランを契約しているArcGIS Developer Subscription契約者が使用する目的で、ソフトウェアおよびデータを複数のマシンにインストールすることができる。他のすべてのソフトウェアは、単独使用ライセンスとして使用が許諾される。

25. 該当する注文書に規定のとおり、所定のコンピュータおよびストレージ容量を含む。
必要に応じて、追加の **IoT Compute Units** および **IoT Storage Units** を購入できる。
Esriは、お客様のサービス
クレジットの消費量が、お客様のサブスクリプションでお客様に割り当てられたサービス
クレジットの約**75%**に達すると、お客様のサブスクリプション アカウント管理者に通知する。**Esri**
は、お客様がコンピュータまたはストレージ容量のすべてを利用した場合、お客様による追加 **Analytics
for IoT** サービスの作成を一時停止したり、既存の **Analytics for IoT**
サービスを一時停止したりする権利を留保する。**Esri** は、お客様が適切に追加の **IoT Compute Units**
または **IoT Storage Units** を購入した場合、**Analytics for IoT** サービスへのアクセスを速やかに復元する。
26. ジオデータベースへの顧客のデータの保存は、**10ギガバイト**に制限される。
27. 未使用
28. **ArcGIS Enterprise Workgroup**または**ArcGIS GIS Server
Workgroup**以外のアプリケーションの同時使用は**エンド ユーザー10名**に制限される。
この制限には、**ArcGIS Desktop**ソフトウェア、**ArcGIS Engine**ソフトウェア、および**ArcGIS Enterprise
Workgroup**または**ArcGIS GIS Server
Workgroup**ジオデータベースに直接接続する第三者作製アプリケーションの使用が含まれる。ウェブ
アプリケーションからの接続数には制限はない。
29. ソフトウェアには、サポート対象のバージョンの**SQL Server Express**が必要である。
サポート対象のバージョンは、製品のシステム要件とともに**Esri**ウェブサイトに掲載されている。
30. お客様のデータの使用は、**最大10GB**に制限される。
コンポーネントはすべて、**1台**のサーバーにインストールしなければならない。
31. フェイルオーバー ライセンスが含まれる。
32. このソフトウェアの使用には、ドローンを運転する、試用版ライセンス (例. **FAA**, **EASA**, など)
は含まれません。
33. お客様は、このソフトウェアにより収集または処理したお客様のコンテンツを保存するため、このソ
フトウェアで提供のオンラインストレージを使用することのみ可能とする。
- 34–38. 未使用
39. **ArcGIS GIS Server Basic**および**ArcGIS GIS Server Workgroup Basic**では、**ArcGIS GIS
Server**に含まれている編集機能は使用できない。
- 40–46. 未使用
47. お客様は、お客様のエンド ユーザーに対し、**Esri File Geodatabase
API**を使用する付加価値アプリケーションを開発および配布することができる。
- 48–53. 未使用
54. 未使用
- 55–63. 未使用
64. **Web** 配布用の付加価値アプリケーションは、他の**Esri**製品と併用しなければならない。
他の**Esri**製品と常に併用する場合に限り、付加価値アプリケーションに第三者の技術をあわせて使用する
ことができる。
65. 他の**Esri**製品と併用してのみ使用できる。**ArcGIS
Earth**と他の**Esri**製品を常に併用する場合に限り、**ArcGIS
Earth**とともに第三者の技術も使用できるものとする。
66. 有効な**ArcGIS Online**サブスクリプションのあるお客様のみ、**World Geocoding
Service**が作成した地理座標結果を保存することができる。
67. ジオコードは、年間サブスクリプションにつき、**2億5千万(250,000,000)**件に制限される。
68. お客様は、**Infographics**サービス経由でアクセス可能なデータを表示目的にのみ使用できるが、これ
を保存することはできない。
69. お客様の組織におけるビジネス目的での使用が許可される。
70. お客様の組織における開発およびテストの目的での使用が許可される。

71. 教育機関における教育目的での使用が許可される。
72. お客様の組織における事業目的での使用が許可される。
73. 未使用
74. 個人使用目的での使用が許可される。
75.

共有ツールを使用して公的に共有することによってのみ、お客様は第三者による付加価値アプリケーションの使用を許可することができる。

お客様は、自らの業務上の使用を目的として付加価値アプリケーションを稼働させるために本サブスクリプションを使用することはできない。ただし、お客様が、教育目的に限定して付加価値アプリケーションを使用する教育機関、認定されたNGO/NPO組織、またはメディアあるいはプレス機関である場合を除く。
76. お客様は、プライベート グループの作成またはプライベート グループへの参加を許可されない。
77.

お客様が第三者に対して付加価値アプリケーションを有償で使用させることができる、商用アプリデプロイメントライセンスを含む。
78. お客様は、このサブスクリプションを使用して、プライベート グループの作成またはプライベート グループへの参加ができる。
79.

各サブスクリプションは、顧客のサブスクリプションと併用で、月あたり100万（1,000,000）件のGeosearchトランザクションを上限として使用できる。

トランザクションには、Basemapデータとジオコーディングの両方のトランザクションが含まれる。Basemapデータは、256x256タイル リクエスト8 件につき1トランザクションとカウントする。ジオコーディング は、1つの住所または場所ごとに1トランザクションとカウントする。 バッチジオコーディングの結果を保存する場合など、保存された結果はトランザクションの上限カウントには含まれない。ただし、保存のためのストレージはサービス クレジットを消費する。
80.

登録された教育機関の学生に対し、教育目的に使用する場合に限り、1つのサブスクリプションを複数の登録された学生で共有し、Online Servicesに直接アクセスすることができる。
81. お客様は、付加価値アプリケーションを第三者に有償で使用させることはできない。
82.

特定の指定ユーザーのみが使用するワークフローを自動化しようとする場合に限り、当該指定ユーザーの資格情報をArcGIS API for Pythonの自動化スクリプトに組み込むことができる。
83. お客様は、お客様のクライアント(以下「クライアント」)ごとに独立したAEC Project Delivery Subscriptionを使用しなければならない。お客様は、(i) AEC Project Delivery Subscriptionをそのクライアントとプロジェクト作業で協働することのみを目的として使用し、(ii)お客様がクライアントのために遂行するプロジェクト作業で、クライアントが AEC Project Delivery Subscriptionにアクセスして協働できるように、AEC Project Delivery Subscriptionへの指定ユーザーアクセスをクライアントに提供できる。クライアントは、上記以外の目的で指定ユーザーライセンスを使用することはできない。

お客様は、クライアントによるこれらの利用条件の遵守について一切の責任を負い、プロジェクト終了時には、クライアントにAEC Project Delivery Subscriptionの使用を確実に停止させるものとする。
84. 商業利用向けのデプロイメントライセンスは含まれない。
非商業利用向けもしくは教育利用向けのデプロイメントライセンスは含まれる。
85. ArcGIS Hubに付属のソフトウェア ライセンスおよびサブスクリプションは、ArcGIS Hubが有効にしたコミュニティイニシアチブをサポートするためにのみ使用できる。
お客様は、第三者に、コミュニティ活動への参加のみを目的としてArcGIS Hubの指定ユーザーになることを許可できる。
お客様は、従業員、代理店、コンサルタントまたは委託業者に、ArcGIS Hubからコミュニティイニシアチブを管理、構成、維持およびサポートすることのみを目的としてArcGI

S Hubの指定ユーザーになることを許可できる。ArcGIS Hubに付属のソフトウェアライセンスおよびサブスクリプションの他の使用は許可しない。

86. お客様は、ArcGIS Indoorsに付属のソフトウェアライセンスおよびサブスクリプションを、ArcGIS Indoors ドキュメントで定義したArcGIS Indoorsの機能を有効にするためにのみ、使用できる。ArcGIS Indoorsに付属のソフトウェアライセンスおよびサブスクリプションの他の使用は許可しない。
87. ArcGIS Enterprise 提供の Parcel Fabric サービスへのアクセスは、ArcGIS Pro Standard および ArcGIS Pro Advanced を経由する場合は除き、禁止する。